

平成28年度第2回奈良市ボランティアインフォメーションセンター
運営推進懇話会におけるご質問と対応について

対応する必要がある事項	対応・回答
<p>市民からの相談件数が前年度に比べ約3割程度減少しているが、その要因の分析をし、新たなニーズの掘り起こしに取り組んでほしい。</p>	<p>相談件数の減少については、毎月第4土曜日に開催するボランティア入門講座やセンター内に掲示されているボランティア関連情報、各種案内チラシや、ボランティア活動情報やボランティア・NPO団体活動メンバー募集一覧などの冊子等が有効活用され、窓口や電話での相談が減少したものと推察される。ただ、これからボランティアを始めようとする方々がもっとセンターを利用されるよう、積極的な広報活動(例えばホームページやツイッターでの情報発信やタウン誌への掲載、市内各施設とのコラボレーションなど)をしていく必要があると考えます。</p>
<p>講座によって、参加者(団体)のばらつきが大きい。ターゲットを絞った企画を考えてはどうか。</p>	<p>本年度は「スポーツボランティア養成講座」など、ターゲットを絞った事業の実施に加え、既存の団体に対する「マネジメント講座」、また、専門家相談として、三つ折りチラシの「デザイン講座」など、講座に特色を持たせ、団体運営のフォローアップなども図っていきたいと考えています。また、親子で、実際にボランティアに参加して頂く「親子ボランティア体験」や、登録団体の協力を頂き、小学生などを対象に、短時間で楽しみながらボランティアを体験できる「プチボラ体験コーナー」の設置など、ボランティアを身近に、楽しく感じられる事業の展開も予定しております。</p>
<p>アンケートについて、単に数字を集計するだけでなく、結果から何を読み取り、どう生かすかの工夫が必要。</p>	<p>アンケートの内容や実施時期などを見直し、市民の方々や団体の求めているものを読み取れるよう、見直しを図っていきたいと考えます。</p>